

1組 主体的な学び

対 象：第6学年1組 33名

2組 対話的な学び

第6学年2組 32名

授業者：1組

2組

1 単元名

We Can! 2 「Unit 4 I like my town.」

2 児童観

本学年の児童は、英語でコミュニケーションを取ることに意欲的である。一貫して、スピーチやプレゼンテーションを授業（単元）のまとめに位置付けて取り組んできたことで、自信をもってできるようになってきている。話す時間を多く設定し、繰り返し活動したことで、英語を話せるようになりたいと思う意欲につながっているのではないかと考えられる。外国語についての興味・関心については、書く活動が多くなったことで難しさを感じ、書きたいという意欲はあるが、書くことへの不安感もあるようである。

その課題を解決するために、3つの手立てを考えた。一つ目は、学習過程に書く活動を帯の活動として入れることである。二つ目は、児童が伝えたいことを書くときに辞典を使って自ら調べることで、主体的に活動できるようにしたことである。三つ目は、教室に掲示物を設けることで、既習表現を自然と目にすることができ、安心して対話できるように工夫したことである。必然性を感じられる活動を行い、相手と対話するために必要な「ちょっと一言」やリアクションができるように考えさせ、英語によるコミュニケーションができたことでの達成感を味わわせるようにしていく。

3 研究主題にせまるために**(1) 主体的な学び**

単元の中に必然性をもたせることにまず重点をおいた。本単元では、自身が住んでいる調布について調べ、「地域にどのような施設があるのか」「この町に欲しい施設は何か」「この地域のよさは何か」などを伝える等の活動を取り入れる。必然性をもたせることで、主体的な学びへとつなげていく。

(2) 対話的な学び

興味・関心を高めることにより、「何をどのように伝えるか」など、児童の主体性を引き出したい。調べてポスターを完成させ、発表するという見通しをもたせることで、スクリプト以外にどのような言葉が必要かを考えさせることにつながり、対話的な学びになると考える。

(3) 深い学び

どのような既習事項が活用できそうか考えさせ、実際に使う機会を設ける。主体的で対話的な学びとなるよう工夫をすることで、児童は既習事項を活用しながら活動する深い学びにつながると考える。

4 単元の指導目標

- ・地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。（知識及び技能）
- ・地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。（思考力、判断力、表現力）
- ・他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

5 言語材料**(1) 表現（児童の発話）**

- ・ We have / don't have (a park). We can (see many flowers). We can enjoy [fishing / shopping / swimming].
I want a [library / park]. (Sakura) is nice.

(2) 語彙（児童が使う語彙）

- ・ town, 施設・建物 (amusement park, aquarium, swimming pool, stadium, roller coaster, Ferris wheel), nature, 動作 (fishing, dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, walking), nest
[既習] 施設・建物 (library, school, park), 状態・気持ち, 飲食物, 動作, スポーツ, enjoy, have, want, buy, see, eat, play

6 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

7 単元の評価規準

知識・技能	① We を使って、地域を紹介することができる。 ② 地域の施設や、地域のよさを表す表現を知り、それらを書くことができる。
思考・判断・表現	① 発表に向けて、話型以外の発表の仕方について考えることができる。 ② 話型を参考にした発表を通して、考えを伝え合うことができる。 ③ 音声で慣れ親しんだ表現を推測しながら聞くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	① 学習に興味をもち、主体的に学びに向かうことができる。 ② 学習に見通しをもち、計画的に学習することができる。

8 単元指導計画 (全8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (○) 主題にせまるための手立て (◎)	評価
1	◆地域にある施設、ない施設、また欲しい施設について話し合う。 ○「small talk」(学校内のお気に入りの場所を題材に、スクリプトに沿って行う。) ○単元の学習の流れを知る。 ○スクリプトを知る。 ○地域にある施設、ない施設、欲しい施設を出し合い、言い方を知り、練習する。	主-①
2	◆地域にはどのような施設があるか、ないかについてやり取りすることができる。 ○「small talk」(地域の好きな施設などについて、HRTと児童で1分間程度話す) ○「We have a ～.」「We don't have a ～.」の言い方を知り、発音・練習する。 ○スクリプトに合わせて、発表内容を書く。	知-① 主-②
3	◆自分が住んでいる地域のよさについて、理由を付けて言ったり、聞いたりできる。 ○「small talk」(地域にある施設やない施設などについて、1分間程度話す) ○「We can enjoy ～ing.」の言い方を知り、発音・練習する。 ○スクリプトに合わせて、発表内容を書く。	知-① 主-②
4	◆地域にあって欲しい施設とその理由について聞いたり言ったりできる。 ○「small talk」(地域のよさについて、1分間程度話す) ○「I like ～ing.」「I want a ～.」の言い方を知り、発音・練習する。 ○スクリプトに合わせて、発表内容を書く。	主-②
5	◆自分たちが住む地域について発表することを、目的意識をもってポスターに書く。 ○「small talk」(地域にあってほしい施設とその理由について、1分間程度話す) ○イラストや写真を含め、内容を十分に伝えることができるポスターを作る。	知-②
6	◆発表に向けて練習をし、スクリプト以外の会話に必要な「ちょっと一言」を考えることができる。 ○話型に沿って練習したり、話型以外のことも話せるよう考えたりする。 ◎3-(3) 深い学び	思-① 主-①
7 1組	※9の本時を参照。 ◎3-(1) 主体的な学び	
8 2組	※9の本時を参照。 ◎3-(2) 対話的な学び	

9 本時（全8時間の7時間目）

(1) 本時の目標

発表に向けて練習をすることで、スムーズに話したり改善点を見つけたりすることができる。

(2) 本時の展開

1 組

主体的な学び

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする ○英語でリアクションする。 ・教師→児童	・英語を学習する際に意識すべき BEST (Big&Clear voice, Eye contact, Smile, Try) を確認する。	BEST カード
Warming up 2分	○本時で扱う表現について練習をする。	・既習事項について、正しく言えているか確認する。	施設や建物カード
Small Talk 2分	○児童同士で既習の表現を使って質問したりたずねあったりする。 △質問が途切れてしまう。	☆掲示物を見てよいことを伝えたり、会話例を伝えたりする。	教室後ろの掲示物 主-①
Today's goal 2分	○本時のめあてを確認する。 発表に向けて、練習をしよう。 ○本時の流れを確認する。	・黒板に掲示している物を使って流れを伝える。	学習の流れカード
Presentation 1 9分	○8グループに分かれ、1人ずつ発表する。 △自信をもって話せない。 スクリプト 1人1分30秒 ① This is my town. Chofu is nice. ② We have a (形容詞など) ~. ③ We can enjoy ~ing. ④ We don't have a ~. ⑤ I like ~ing. ⑥ I want a ~. ⑦ Thank you.	・練習をする時間を設け、安心させる。 ☆付き添い、助言をする。 感想の伝え方 (例) ●nice(voice/eye contact/smile/try)! ※感想は、聞いている人全員が言う。 ●改善点を伝える。(日本語でもよい) ※全員でなくてもよい。	黒板に掲示するスクリプト 主-①
Reflection 1 10分	○クラス全体でリフレクションを行い、成果と改善点を共有する。 ○改善点をもとにして、練習する。 △何を修正すればよいかわからない。	・HRTから改善点を伝える。次に、 ①「2回目の発表に向けての改善点は何ですか？」 ②「スクリプトに付け足したいことはありますか？」と児童に問いかける。 ☆児童に1回目どうだったか聞き、それを基にして児童と相談する。	主-①
Presentation 2 9分	○1回目と同じグループで発表する。 △自信をもって話せない。	・練習をする時間を設け、安心させる。 ☆付き添い、助言をする。	
Reflection 2 8分	○本時のリフレクションを行う。	☆リフレクションカードの記入事項を確認する。 ☆数名の児童に感想を発表させる。	
Closing 1分	○あいさつをする。		

9 本時（全8時間の8時間目）

(1) 本時の目標

他者に配慮しながら、自分たちが住む地域について、自分の考えを発表することができる。

(2) 本時の展開

2組

対話的な学び

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする ○英語でリアクションする。 ・教師→児童	・英語を学習する際に意識すべき BEST (Big&Clear voice, Eye contact, Smile, Try) を確認する。	BEST カード
Warming up 2分	○本時で扱う表現について練習をする。	・既習事項について、正しく言えているか確認する。	施設や建物カード
Small Talk 2分	○児童同士で既習の表現を使って質問したりたずねあったりする。 △質問が途切れてしまう。	☆掲示物を見てよいことを伝えたり、会話例を伝えたりする。	教室後ろの掲示物 主-①
Today's goal 2分	○本時のめあてを確認する。 自分たちが住む地域について、発表しよう！ ○本時のながれを確認する。 ① <第一次発表> 8グループに分かれ、一人ずつ発表を行う。 ② 小リフレクションを行う。 ③ <第二次発表> 8グループに分かれ、一人ずつ発表を行う。 ④ 小リフレクションを行う。よい発表だと思う人を決め、全体で共有する。 ⑤ 各グループの代表が全体の場で発表する。		
Presentation 1 6分	○グループで一人ずつ発表をする。 △自信をもって話せない。	☆HRTが助言をする。	・ポスター 思-② 思-③
Reflection 1 3分	○発表をしたり、聞いたりしたことについてのリフレクションを行い、全体で共有する。	☆リフレクションを共有し、次の発表に生かせるよう、声をかける。 ☆良かったことを価値づける。	
Presentation 2 6分	○次の発表の場に移動する。 ○グループで一人ずつ発表をする。 △自信をもって話せない。	☆リフレクションで出た意見を参考に するよう、声をかける。	・ポスター 思-② 思-③
Reflection 2 3分	○発表をしたり、聞いたりしたことについてのリフレクションを行い、全体で共有する。よい発表だと思う人をグループ内で決める。	☆リフレクションを共有し、次の発表、次の単元に生かせるよう、声をかける。	
Presentation 3 12分	○各グループの代表者が全体の場で発表をする。	☆良かったところを価値づける。	・ポスター 思-② 思-③
Reflection 3 6分	○本時のリフレクションを行う。	☆リフレクションカードの記入事項を確認する。 ☆数名の児童に感想を発表させる。	
Closing 1分	○あいさつをする。		